

国語（中学生） 「現代語文法 品詞①」

1. 文節・・・途中、「（　　）」「サ」「（　　）」を入れられる区切れ目。

例 .. さて、アブラハムの時代にあつた先のききんとは別に、この国にまたききんがあつた。（創26..1）

例 .. イサクは年をとり、視力が衰えてよく見えなくなつたとき、

長男のエサウを呼び寄せて彼に「息子よ」と言つた。（創27..1）

*文節は、さらに細かく、単語に分けることができます。例 .. アブラハムの→アブラハム十の

2. 単語＝自立語と付属語。

自立語・・・それだけで意味の「① 分かる ② 分からない」単語。 例 .. アブラハム

付属語・・・それだけで意味の「① 分かる ② 分からない」単語。 例 .. の

3. 活用・・・単語の形が変化することです。活用する単語を（　　）と言います。

例 .. ヨハネは：イエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の小羊」と言つた。

ふたりの弟子は、彼がそう¹言うのを聞いて、イエスについて行つた。（ヨハ1..35～36）

4. 活用する自立語・・・動詞・形容詞・形容動詞。

・動詞 || 「動き」を表す単語。言いきりの形は、() 段で終わる。言う、話す、作る、など。

・形容詞 || ものの様子や状態を表す単語。言いきりの形は、「()」で終わる。美しい、青い、小さい、など。

・形容動詞 || ものの様子や状態を表す単語。言いきりの形は、「()」で終わる。静かだ、豊かだ、大胆だ、など。

問.. 言いきりの形と、品詞を答えてください。

① 夫のヨセフは正しい人であつて、彼女をさらし者にしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。

② そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。

③ それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。

5. 活用しない自立語

・名詞　　||ものの名前を表す単語。名詞のことを、「()」と呼ぶ。(「用言」は何でしたか?)

・副詞　　||()を修飾する単語。はつきり、すぐに、とても、など。

・連体詞　||()を修飾する単語。この、大きな、いわゆる、など。

・接続詞　||文と文をつなぐ単語。そして、しかし、など。

問　・品詞を答えてください。

① |ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に着いていたので、人々はさつそく彼女のことをイエスに知らせた。

② |ある女人が、非常に高価な香油の入った小さな壺を持って、みもとにやつて來た。

③ 「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」すると、すぐに彼は見えるようになり、